

二本松病院附属介護老人保健施設だより

花かすみ

発行所

二本松市成田町1-867

二本松病院附属介護老人

保健施設

0243(22)6517

春号

新年度のご挨拶

施設長 六角裕一



皆さんこんにちは。お変わりないでしょうか。令和3年の新年度が始まりました。二本松病院の桜もきれいに咲いており、今が見ごろとなっています。

さて、昨年の初めから始まった新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息の兆しを見せず全国、いや全世界で猛威を振るっています。今現在世界での感染者は1億2000万人、死亡者は280万人を超えています。そして日本でも50万人近い感染者と1万人に近い死者数となっています。一時減少していた新規患者数が3月下旬から増加に転じ、大阪ではまん延防止法が適用されるようになっています。

ではこのコロナ感染症に対して我々はどのように対峙していけばよいのでしょうか。感染しないためにはどのようにしていけばいいのか、他人に感染させないためにはどのようにしていけばいいのでしょうか。

大事なことは以前から言われているように、“密”になることを避けるということです。感染経路が分からない人が増えていると言われていますが、そのような人たちの中で一定数“密”があったことは確認されているようです。注意深い行動によってかなり感染が抑制されるはずですが、このことは緊急事態宣言を出して市民の動きを制限することによって、新規患者数が右肩下がりに

なってきたというところで証明されるでしょう。逆に今各地で新規感染者が増えています。10代から30代の若い人の増加が主だということも、活発な行動や“密”が原因になっていることを物語っています。

次に大事なことはワクチンの接種だろうと思います。ワクチンの効果は感染の予防、発症の予防、重症化の予防の3つがありますが、現在日本で接種されているワクチンは、発症予防効果が95%あるとされています。また、重症化の予防に関しても効果が期待されるようです。ワクチンに関しては否定的な意見、心配だという考えがありますが、今までの全世界での接種状況を見る限りその心配はないと考えています。どうか皆さん、安心してワクチンの接種を受けてください。

二本松病院では病院、老健、訪問看護ステーションなどでの希望する職員すべてにワクチン接種を行いました。これといった副作用は報告されていません。病院や老健の職員がワクチンを接種することで、我々職員から患者さんや老健の入所者さんに新型コロナウイルスを感染させることがなくなります。感染に対して安全で安心できる施設を作っていけると信じています。どうぞよろしく願います。





令和2年度の日常



お風呂あがりの水分補給



皆で飾りつけ制作中



いつもお手伝いありがとうございます。

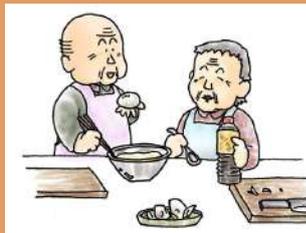


塗り絵は奥が深いわねえ～



年明けは書き初め！
いい年になりますように。





ハロウィン、クリスマス、最近ではお花見弁当などイベントごとに昼食に特別メニューが出ています。

なかなか外出や行事ができない状況ですが、このような食事をする事で少しでも季節を感じていただいています。



施設でのコロナ対策

スタッフは出社前後に各自検温を行い、フロア内ではマスクやフェイスシールド、ビニールエプロンを着用し利用者様とかわっています。各テーブルにはパーテーションを設置し対応しています。施設正面玄関には、体温測定器と自動手指消毒器を設け、予防対策強化を図っています。

また、現在面会制限のため iPad を使ったオンライン面会を実施しています。家族の方の顔を見ることで安心し、皆様笑顔でお話されています。まだやったことのない方もたくさんいらっしゃるとお思いますので興味があれば是非試してみてくださいでしょうか。



避難訓練

去年の12月と今年の3月に避難訓練を実施しました。スタッフ間で声を掛け合い誘導することが出来ました。



雛人形と一緒に♪



皆さんいい顔！



デイケア便り

二本松病院附属介護老人保健施設広報新聞「花かすみ」に掲載されている写真は、ご本人又はご家族様に同意を得て掲載させて頂いております。

新年度になりました。新型コロナウイルスにより皆様の生活にも影響が出ていると思います。施設の行事も実施できず、広報誌の発行も滞ってしまい申し訳ありませんでした。これからまた利用者の方々の様子を皆様にお伝えできればと思います。

広報委員会 佐藤恭助



2021年は“丑年”！！